

中学生の「税についての作文」

大川市長賞

税の素晴らしさ

大川市立大川南中学校

三年 志 岐 優 佳

私は「納税」と聞いてあまり良いイメージがありませんでした。なぜなら、買い物をする時は必ず消費税がついてくるからです。また、この10月には、8パーセントだった消費税が10パーセントになり、ますます買いたい物が買えない世の中になってくるからです。よくニュースで年金問題が取り上げられています。もっと効率のよい税の使い方があっていいのではないかと思います。

この前、学校で租税教室がありました。もっと知りたいと思い、インターネットで調べてみました。そもそも税金は、国に納める国税と都道府県や市町村に納める地方税に分かれています。国税の税の数は25種類、地方税の税の数は26種類あり、あまりの多さに驚きました。また、税金の納め方として2つに分けられていることを知りました。1つ目は、税金を納める義務のある人（納税者）と税金を負担する人が同じ直接税、例えば所得税のことです。2つ目は、税金を納める人と税金を負担する人が別である間接税、例えば、消費税などです。税の種類を調べていくと、タバコの税率がなんと55・6パーセントもありました。祖父がタバコを吸って

た時のライターに、『タバコは自分の地域で買いましょう。』と書いてあったことを思い出しました。このタバコには、国税のタバコ税、地方税の県税からなる道府県タバコ税と市町村税からなる市町村タバコ税の3つがかけられていました。タバコ代の半分以上が税金だと知り、自分の地域で買うことで地元へ税金が入ることに納得しました。税の使い道について調べると、医療費、年金、介護・障がい、教育費や災害時の復興作業に使われていると知りました。

私は毎年お盆になると、山に住んでいる親戚に会いに行きます。ですが数年前は、大雨が降り、土砂崩れや川の氾濫が起こり、その年は違う道を使い遠回りして会いに行きました。次の年に行くと、通常に戻り、きれいになっていました。思い出してみると、あれは税金があったから修復できたと思います。もし税が無く、私の住んでいる地域が災害にあったとしたら、ボランティアの人が手伝ってくれると思いますが、山の土砂崩れの時のように、すぐにきれいにならないと思います。

税金があることで私たちが安心して、快適に過ごすことができるのは、国民みんなの積み重ねがあるからだと思えました。今年の10月に消費税が10パーセントに引き上がりますが、しっかり払っていいこうと思いたいです。

